

平成25年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市障害者体育センター
所在地	四日市市西日野町4070番地1
指定管理者	<p>名称 特定非営利活動法人 障害者福祉チャレンジド・ネット</p> <p>代表者 理事長 山本 征雄</p> <p>住所 四日市市小林町3017番地8</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒヤリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉の通り、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。</p>
担当部課 (問合せ先)	<p>健康福祉部障害福祉課</p> <p>TEL：059-354-8171</p> <p>E-mail：syougai-fukushi@city.yokkaichi.mie.jp</p>

■ モニタリングの総合コメント

平成25年度の四日市市障害者体育センターについては、利用者の総数が減少したものの、施設利用料金収入の増加と支出額の抑制により黒字の収支決算になりました。

業務内容の施設及び附属設備の維持管理に関して、市の実地検査や改善指導に従い、不要な物品の除去・備品の修繕等を進め施設内の整備に鋭意努力したため、利用者から綺麗になり気持ちよく利用できるようになったと好評を得ました。整理整頓・清潔・安全面に配慮した施設整備を今後も継続して実施するよう求めていきます。

体育センターの運営に関しては、職員の配置の不備などが見受けられましたが、職員体制を見直しましたので、今後も仕様書の業務内容に準じて適正に実施するよう求めます。

経理については、支出の誤りや人件費関係の不備について指導を行い、また、仕様書に則した経理規定の策定と、規定に準じた経理事務の改善を求めました。これに対し現場担当者が真摯に受け止め、改善に向けて努力されましたので、今後も継続ができるよう働きかけます。

また、法人の経理状況の報告や書類の提出等についても、条例・規則・募集要項・基本協定書・仕様書に基づいた業務であることを踏まえ、複数の従事者が確認する組織体制に変更するなど改善に向けた努力を惜しみませんでした。そのため良好と判断しますが、今後、適正に業務が遂行できる体制を確立させるよう指導します。

「障害者のスポーツ振興を図り、その自立と社会参加を促進する」という施設本来の目的を達成するために障害者団体へ呼びかけを行い実績を残していますが、利用する障害者が固定化していることから、今後は新たな障害者の開拓と、障害者スポーツによる交流の場として有効に活用できるようさらなる工夫が必要です。

安全性の確保、利用者の環境維持のための保守管理、隣接する複数の福祉施設等と連携した合同防災訓練への参加など、現場管理者を中心とした危機管理体制の向上については、恒常的に努力しており良好と判断します。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

今後の業務改善については、以下のとおり、市の運営方針を指導していきます。

- ・当施設の目的である障害者スポーツの振興について、障害者の利用拡大がさらに図られるとともに、安心かつ安全に施設利用ができること。
- ・申込書・料金徴収・申込取消等の書類を整備し、申込者のニーズに応じた対応ができるようフィードバック機能を充実させること。
- ・アンケート内容の工夫等により利用者側の意見を十分に聞き取り、より一層利用しやすい環境づくりに努めること。
- ・指定管理者の特性を生かして、障害者団体・関係機関等と連携し、さらに活性化を図ること。
- ・より多くの障害者にご利用いただくために、更なる周知の徹底を行うこと。

基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

障害者の自立と社会参加を促進し、生活を豊かにするスポーツを楽しむ場を提供するという、施設の目的に沿った実施方針に基づき適切に管理運営が行われています。施設運営や利用者への対応については、従来から利用の多かった身体障害者のみならず知的障害者団体や精神障害者団体も公平・平等に利用できるよう規定に基づき運用されています。

業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

障害者スポーツだけでなく、障害者団体・近隣施設等と意見交換を行って合同防災訓練を実施するなど、地域福祉の課題を共有することで地域福祉の向上に貢献しています。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

障害のある職員が交代勤務体制で従事し、施設の随所に障害者の視点にたった管理運営が行われています。

施設を管理運営する体制については、条例・基本協定書・年度協定書・仕様書などの指定管理業務に関する関係書類が現場管理者等に共有されていなかったことを踏まえ、施設管理や事務作業に関すること全てを障害者体育センターに集約し、施設の運営に対する責任を従事者全員で担うことができるよう改善しました。

また、文書の管理方法及び経理規定等を新たに定め、副理事長を核とする新たな組織体制に立て直すとともに、日々の業務も必ず複数者の目で確認するチェック体制に改め、運営体制の強化を図りました。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

利用料金収入や施設管理費については概ね適正に処理されていましたが、受付番号の重複など事務処理上の誤りや支出伝票の科目誤りが散見されました。また、人件費や床磨きの支出においては、指定管理業務以外の事業にかかる経費が混在しているなど、経理区分を明確にして不備のない適切な事務処理を行う必要がありました。

市の实地検査や指導に対して、指定管理者は新たな体制に整え、適正な事務処理ができるよう改善努力されましたので今後は継続していくことを求めます。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

今年度は大規模災害の発生を視野に入れ、障害者体育センターが地域の一次避難場所として活用できるように整備することを目標に、施設の備品等の整備や不用品等の処分を行っています。

また、地区市民センターの傘下組織としての役割や責任を再確認し、職員の連絡網の整備や対応・役割分担についても改めて話し合うなど、現場に従事する職員が良く努力されていました。災害の観点から、地域福祉の貢献施設として、ハードとソフトの両面で責任を果たせるよう職員の意識も向上しています。

体育センターに隣接する複数の福祉施設と定期的に避難・誘導訓練等を実施していますが、今年度は各施設がそれぞれトランシーバーを購入し、互いに連携して様々な状況下にある障害者全員を避難誘導する訓練を行いました。訓練結果から課題を話し合い、防災のための意識啓発にも努めていましたが、今後は地域の住民等との連携を視野に入れ、支援が必要な障害者への理解を深める企画を求めます。

社会性（環境等への配慮）

不要な照明の消灯やLED照明に変更するなど、環境への配慮に努めています。

事業収支

経済性

技術のある職員が備品の修繕等を行ってコスト削減を図るなど、創意工夫を凝らしています。経理規定に則して支出を行った結果、人件費等の支出額が減少し全体として昨年を上回る黒字となりました。

組織の体制の見直しを行い、経理規定を定めて基準に基づいた支出方法に改めた努力の結果であり、適正であったと判断します。

団体の経営状態

経営の健全性

指定管理者から提出された貸借対照表・損益計算書について分析した結果、特に大きな課題や問題はないと判断します。

その他

障害者雇用に対する取組み

指定管理業務に携わる全員が障害者であることを確認しています。

施設概要調書

1. 施設の概要

平成25年度

施設名	四日市市障害者体育センター		所管課： 障害福祉課
所在地	四日市市西日野町4070-1		設置年月：平成15年4月1日 (昭和52年5月29日三重勤労身体障害者体育センター)
設置目的	四日市市障害者体育センターは、障害者のスポーツ振興を図り、その自立と社会参加を促進することを目的とします。		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市障害者体育センター条例		
施設の概要	設備の概要	敷地面積 (㎡)	2804.00
		延床面積 (㎡)	975.51
		体育室725.76㎡、事務室20.98㎡、更衣室・便所等228.77㎡	
施設の概要	事業概要	開館日 休館日(毎週火曜日、祝日、12月29日～1月3日)を除く日 利用者 ①障害者及びその付添者 ②障害者の団体 ③障害者のための事業の主催者 ④アマチュア・スポーツ団体 ⑤その他市長が特に認めたもの 利用料金 ①～③免除 午前 午後 夜間 午前午後 午後夜間 ④ 630円 740円 1,160円 1,160円 1,470円 ⑤1,470円 2,000円 2,730円 2,730円 3,780円 他付属設備等 600円	

2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
開館日数	293日	293日	0
開館時間	日曜日 午前9時～午後5時 月曜日 午後1時～午後5時 水曜日～土曜日 午後1時～午後9時	日曜日 午前9時～午後5時 月曜日 午後1時～午後5時 水曜日～土曜日 午後1時～午後9時	

3. 利用実績

項目	前年実績	実施内容 (事業報告書)	前年対比
延べ利用者数	障害者利用数	1,671人	1,692人 21人
	一般利用者数	4,283人	3,921人 △ 362人
稼働率	平均	82.2%	80.5% △ 1.7%
	平日	78.9%	76.3% △ 2.6%
	土日祝	88.8%	88.9% 0.1%

4. 事業収支

(単位:円)

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
指定管理料	4,350,000	4,350,000	0
利用料金収入	150,000	490,640	340,640
受取利息	0	178	178
収入計	4,500,000	4,840,818	340,818
人件費	3,218,000	2,399,033	△ 818,967
管理費	1,282,000	1,289,793	7,793
消耗品費	240,000	250,108	10,108
燃料費	0	0	0
印刷製本費	0	2,330	2,330
光熱水費	459,000	495,077	36,077
修繕料	145,000	20,000	△ 125,000
通信運搬費	37,000	48,888	11,888
広告料	0	0	0
手数料	0	1,470	1,470
保険料	100,000	81,570	△ 18,430
委託料	268,000	248,850	△ 19,150
賃借料	0	31,500	31,500
その他	33,000	110,000	77,000
事業費(ソフト事業等)	0	0	0
一般管理費	0	0	0
支出計	4,500,000	3,688,826	△ 811,174
収支	0	1,151,992	1,151,992

平成25年度 四日市障害者体育センター 運営状況 チェックシート

1. 運営企画

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	293日	293日			適
開館時間	日曜日 午前9時～午後5時 月曜日 午後1時～午後5時 水曜日～土曜日 午後1時～午後9時	日曜日 午前9時～午後5時 月曜日 午後1時～午後5時 水曜日～土曜日 午後1時～午後9時		計画通り	

2. 利用実績

項目	前年実績	実施内容	前年対比	検証・分析等	適否	
延べ利用者数	障害者利用数	1,671人	1,692人	21人	障害者数が微増し、一般利用者数が前年度より減少している。	適
	一般利用者数	4,283人	3,921人	△ 362人		
稼働率	平均	82.2%	80.5%	△ 1.7%	昨年同様、土日の稼働率が高い。障害者及び付き添い者については、平日で25.2%、土日で38%と、土日の利用割合が高かった。	
	平日	78.9%	76.3%	△ 2.6%		
	土日祝	88.8%	88.9%	0.1%		

3. 事業収支

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
指定管理料	4,350,000	4,350,000	0	平成25年度の指定管理料は施設点検料として10万円増額したことと、一般利用者からの利用料金収入の伸びにより、収入額が前年度より増加した。	適
利用料金収入	150,000	490,640	340,640		
利息		178	178		
収入計	4,500,000	4,840,818	340,818		
人件費	3,218,000	2,399,033	▲ 818,967	〔勤務体制：常勤1人，臨時5人〕 人件費、修繕料、保険料、委託料の支出金額が、予算額を下回った。 特に人件費については、市が出勤簿や支払明細等を詳細に調査し、適切な会計処理を行うよう指導を行ったため、法人が出勤簿や人件費の計算を修正し、結果的に支出額が減少した。 修繕料の科目誤りについては、適切な科目で処理するよう指導し、消耗品費や委託料に振替を行ったため、修繕料の支出額が減少した。 振込手数料が消耗品費等の金額と合算処理されていたので、修正を指導し、手数料の項目に金額が生じた。 賃借料については、当初の計画にはなかったが、施設内に放置されていた物品や不用品の処理を行うために必要な経費であり、市と協議して支出したものであり適切であったと判断する。 この施設内整備により、備品等施設管理が整備され、利用者から綺麗になったとの感想があった。	適
管理費	1,282,000	1,289,793	7,793		
消耗品費	240,000	250,108	10,108		
燃料費	0	0	0		
印刷製本費	0	2,330	2,330		
光熱水費	459,000	495,077	36,077		
修繕料	145,000	20,000	▲ 125,000		
通信運搬費	37,000	48,888	11,888		
広告料	0	0	0		
手数料	0	1,470	1,470		
保険料	100,000	81,570	▲ 18,430		
委託料	268,000	248,850	▲ 19,150		
賃借料	0	31,500	31,500		
その他	33,000	110,000	77,000		
事業費（ソフト事業等）	0	0	0		
一般管理費	0	0	0		
支出計	4,500,000	3,688,826	▲ 811,174		
収 支	0	1,151,992	1,151,992		

総合コメント

今年度は障害者の利用者数が昨年より微増し、一般利用者からの利用料金収入についても前年度より増加した。
施設の維持管理や火災・防災への対処は全体的に適正に行われていたといえるが、経理区分や人件費計算、収支決算書などにおいて、誤った会計処理が見受けられたため、細心の注意を払い改善に向けて一層の努力を求めていく。

平成25年度 四日市市障害者体育センター運営状況 チェックシート①-2

項目		事業分析	適否判断
利用実績		開館日数 : 293日 延べ利用者 : 5,613人 【障害者利用1,692人（付添者647人含む）、一般利用3,921人】 稼働率 : 80.5%	適
事業収支	収入	一般利用者数は減少したが、利用に伴う料金の支出額は増加した。（利用する曜日や時間帯により、利用料が異なる。） 【平成23年は285,151円、平成24年度は373,650円、平成25年度は490,640円】 一般利用者は、障害者の利用に支障がない範囲で利用していたため問題はない。	適
	支出	平成24年度から夜間の時間帯にサブ担当者を配置するようになり人件費の増加が見込まれていたが、市による出勤簿及び人件費計算等の精査で計算誤り等が複数見受けられたため修正を促し、結果的に人件費は予算よりも減額となった。 長椅子などの備品や倉庫の床などは傷みが進んでいたが、職員が自ら修繕を行い、利用者の視点に立って使い勝手の良いように工夫を凝らした結果、経費の節減効果だけでなくその出来栄の良さから、利用者から高い評価を得ており大変良好であったと判断する。 しかしながらその経理区分において、購入した材料費が修繕費として処理されていたので、消耗品費として計上するよう修正指導した。また業者に委託して修理したものは委託料として支出するよう指導し、共に修正報告された。 予算を上回ったのは、消耗品費、印刷製本費、光熱水費、通信運搬費、手数料、賃借料であった。 振込手数料については、消耗品費等と併せて処理されていたので、科目修正を指導し、当初の計画にはなかった手数料が発生した。 賃借料については、施設内に放置されていた物品や不用品の処理を行うために、廃棄物業者から廃棄物用コンテナを賃借した経費であり、市と協議して実施したものであることから、予算にない支出ではあったが適切であったと判断する。 この廃棄処理等により、備品等施設管理が整備され、利用者から綺麗になったとの感想があった。	適

平成25年度 四日市市障害者体育センター業務の履行状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	業務従業者の要件等	業務執行体制（各業務・作業責任者等）が明確になっているか、また、変更した場合連絡先を市に届出されているか	業務報告書、電話、窓口面談	対応方法についてその都度相談があり、市に届出もされた。	適
	法令等の遵守	法令等で定められた書類を提出したか	書面・実地確認	経理規程等がなかったが、指導により年度末までに提出された。	適
	報告書等の提出	各業務計画書・報告書は提出されたか	4月1日計画書、4月30日報告書	記載誤りについて、後日修正して提出された。	適
		自主事業の計画書・報告書は提出されたか	計画書・報告書等	仕様書どおり行われている。	適
		収支予算書・決算書は提出されたか	計画書・報告書等	計算誤り等は後日修正して提出された。	適
	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	業務報告書、電話、窓口面談	随時連絡はある。	適
	各種管理記録等の整備保管	各種業務計画書が整備、保管されているか	実地確認	保管されていた。	適
		業務日誌等の報告書、点検記録は整備、保管されているか	実地確認	事務所に保管され、ほぼ整備されていた。	適
		整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか（事業期間終了時まで）	実地確認	事務所に保管され、ほぼ整備されていた。	適
		付保している保険を市に通知しているか（更新を含む）	書面・実地確認	提出された。	適
	非常時・緊急時の対応	緊急事態発生時の対処マニュアル（緊急連絡網の掲示を含む）が整備、保管されているか	書面・実地確認	仕様書どおり行われている。	適
緊急発生時、ないし危険が予測される場合に直ちに措置を講じたか		書面	仕様書どおり行われている。	適	
建築物保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に実施されているか	実地確認	仕様書どおり行われている。	適
	点検・保守	法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか	随時報告・実地確認	仕様書どおり行われている。	適
設備保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	実地確認	仕様書どおり行われている。	適
	点検・保守	点検・保守は確実に実施されているか	随時報告・実地確認	仕様書どおり行われている。	適
備品・什器等保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	随時報告・実地確認	仕様書どおり行われている。	適
	点検・保守	点検・保守は確実に実施されているか	随時報告・実地確認	仕様書どおり行われている。	適
外構施設保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に実施されているか	随時報告・実地確認	仕様書どおり行われている。	適
清掃業務	清掃	清掃は確実に実施されているか	実地確認	指導により改善された。	適
警備業務	業務等	業務が計画書に基づいて実施されているか	報告書・実地確認	仕様書どおり行われている。	適
		不審者に対し適宜質問をしたり、警察へ通報する等のマニュアルを作成しているか	実地確認	仕様書どおり行われている。	適
	鍵管理	マスターキー等の管理は適切か	実地確認	仕様書どおり行われている。	適
	防災	マニュアルは作成されているか	実地確認	仕様書どおり行われている。	適
植物育成管理業務	樹木管理	剪定時期等は適切か	実地確認	仕様書どおり行われている。	適
	花壇管理	四季の植栽は適切か	実地確認	仕様書どおり行われている。	適
施設利用案内	行事開催案内	パンフレット類は整備されているか	実地確認	仕様書どおり行われている。	適
	ホームページ作成	ホームページは更新されているか			
管理システム受付業務	機器管理	研修を実施しているか	随時報告・実地確認	仕様書どおり行われている。	適
	システム管理	更新・変更は常になされているか	実地確認	仕様書どおり行われている。	適
		トラブルに対応したか	実地確認	仕様書どおり行われている。	適

総合コメント

経理規定等がないまま処理がされていたものがあったが、規定を作成し体制を見直すなど改善に向けて努力したので、業務全般において是正され適切であると判断する。

平成25年度四日市市障害者体育センター自主事業の実施状況 チェックシート

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
障害者スポーツの普及啓発	四日市ろうあ福祉会スポレク	5月26日 ろうあ福祉会会員を対象にカローリング教室を実施 参加者13名 (障害者11名、付添者2名)	障害者スポーツを通じて、社会参加を実現する取組として評価できる。	適
障害者スポーツの普及啓発	四日市ろうあ福祉会スポレク	よん四レクリエーション大会 【四日市のろうあ福祉会と四日市手話サークルとの合同訓練の後に、スポーツを通じた交流会を開催】 参加者63名 (障害者22名、付添者41名)	社会参加を実現する取組として、また関係者との交流を図る機会として企画しており評価できる。	適
障害者スポーツの普及啓発	四日市肢体福祉会スポレク	グランドゴルフ・卓球 参加者11名 (障害者11名)	障害者スポーツを通じて、社会参加を実現する取組として評価できる。	適
障害者スポーツの普及啓発	四日市肢体福祉会スポレク	グランドゴルフ・卓球 参加者9名 (障害者9名)	障害者スポーツを通じて、社会参加を実現する取組として評価できる。	適
障害者スポーツの普及啓発	四日市肢体福祉会スポレク	グランドゴルフ・卓球 参加者13名 (障害者13名)	障害者スポーツを通じて、社会参加を実現する取組として評価できる。	適
障害者スポーツの普及啓発	四日市肢体福祉会スポレク	グランドゴルフ・卓球 参加者9名 (障害者9名)	障害者スポーツを通じて、社会参加を実現する取組として評価できる。	適
障害者スポーツの普及啓発	アーチェリー初心者教室	初心者教室 参加者7名 (障害者6名、付添者1名)	障害者スポーツを通じて、社会参加を実現する取組として評価できる。	適
障害者スポーツの普及啓発	アーチェリー初心者教室	初心者教室 参加者5名 (障害者3名、付添者2名)	障害者スポーツを通じて、社会参加を実現する取組として評価できる。	適

総合コメント

障害者団体それぞれがスポーツを通じた交流会を企画し自主的に実施している。他の催しと連携して開催するなど、障害者と関係者がつながりを深めるためにスポーツを有効活用しており、その取組は評価できる。

平成25年度 四日市市障害者体育センター 設備・備品の維持管理状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	電話・面談	仕様書どおり行われている。	適
	記録	整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか	実地確認	仕様書どおり行われている。	適
建築物保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	実地確認	仕様書どおり行われている。	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	電話・書面	仕様書どおり行われている。	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	電話	仕様書どおり行われている。	適
	修理	修繕工事は適切であったか	実地確認	仕様書どおり行われている。	適
設備保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	実地確認	仕様書どおり行われている。	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	実地確認	仕様書どおり行われている。	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	実地確認	仕様書どおり行われている。	適
	修理	修繕工事は適切であったか	実地確認	仕様書どおり行われている。	適
備品・什器等保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	実地確認	仕様書どおり行われている。	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	実地確認	時間はかかったが報告された。	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	実地確認	時間はかかったが報告された。	適
	修理	修繕工事は適切であったか	実地確認	仕様書どおり行われている。	適
外構施設保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	実地確認	仕様書どおり行われている。	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	実地確認	仕様書どおり行われている。	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	実地確認	仕様書どおり行われている。	適
	修理	修繕工事は適切であったか	実地確認	仕様書どおり行われている。	適

総合コメント

長椅子の傷みなど指定管理者が点検等により異常を感じていながら、市に報告するのに時間がかかったものがあった。
 しかしながら、実施確認で指導したことに対しては早期に対応しており、またその出来栄は良好であったことから概ね良好とする。
 今後は仕様書の業務内容に基づいて業務を遂行し、速やかに報告することを求める。

平成25年度 四日市市障害者体育センターサービスの質 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
運営業務	使用許可、 利用料金の 徴収	スムーズに予約できたか	実地確認	適切であった。	適
		許可証は速やかに発行されたか	実地確認	適切であった。	適
	施設利用案内	行事開催案内の時期は適切か			
		ホームページは見易いか			
	受付・対応 業務	担当者の接客態度は良かったか	実地確認	適切であった。	適
		使用者に対する指導は適切であったか	実地確認	適切であった。	適
		業務従業者は名札を着用しているか	実地確認	着用してなかったが指導により着用するようになった。	適
運営業務	講座やイベントは満足できる内容であったか	—	該当なし	—	
維持管理業務	施設・設備 の保守管理 業務	施設が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	実地確認	指導により改善された。	適
		設備が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	実地確認	適切に管理されていた。	適
	清掃業務	トイレトーパー、消毒用品、手洗い用石鹸は常に補給されているか	実地確認	適切に管理されていた。	適
		全体的（駐車場を含）に、見た目清潔に保たれているか	実地確認	指導により改善された。	適
	警備業務	避難経路には障害物がないか	実地確認	適切に管理されていた。	適
	外構・植栽 管理業務	機能・美観が良好な状態に保たれ、利用者が安全に利用することができるか	実地確認	指導により改善された。	適
		利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	実地確認	適切に管理されていた。	適
		樹木・花壇は見栄え良く管理されているか	実地確認	指導により改善された。	適
		草刈りや除草はされているか	実地確認	指導により改善された。	適
	環境衛生管理業務	快適に利用できる環境となっていたか	実地確認	適切に管理されていた。	適
	廃棄物処理業務	廃棄物は適切に分別が行われていたか	実地確認	適切に管理されていた。	適
	備品管理業務	利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	実地確認	指導により改善された。	適

総合コメント

適切に管理されていた項目もあったが、備品等の管理や整理整頓に関しては不適切な状態のものが複数あったため、実地確認により運営業務及び維持管理業務についての指導を重ねた。
これらにより、ほぼ全ての課題は解決し、利用者からは綺麗になり使いやすくなったとの声があった。
また備品の修繕においては、職員の技術によって新品同様に修繕し、使い勝手も改善したため、利用者から高い評価を得ていた。
これらの結果を踏まえ良好と判断する。